

2024年日本平和大会実行委員会ニュースno.5



発行:2024年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2024/10/31
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

私たちの運動を強め、新しい政治の流れに、 大軍拡と「戦争国家づくり」を転換する流れを

2024年日本平和大会実行委員会は10月31日、オンラインで第6回実行委員会を開催しました。

第6回実行委員会開催

はじめに、総選挙の結果をどうとらえ、そのうえで間近となった平和大会を成功させる意義について討議しました。そして企画の準備状況と運営体制を確認し、大会までの2週間、視聴会とともに個人視聴も大いに広げ、「戦争国家づくり」を許さない世論と運動を広げる節目として大会を成功させることを確認しました。



新しい流れを、大軍拡・「戦争国家づくり」を転換する力へ

東森安保破棄中央実行委事務局長の開会あいさつ(要旨)

自公与党が大きく議席を減らした総選挙結果についてはみなさん周知の通りです。

今回の選挙は、裏金問題で国民の支持を失った岸田前首相が政権を投げ出し、石破新政権が、政権の実態が明らかになる前に国民の支持をかすめ取ろうと、内閣発足後史上最短で行ったものです。国民は、「電撃選挙」で支持をリセットしようとする石破政権に信任を与えませんでした。石破政権は存続しそうですが、与党の多数を許さなかったことで、金権腐敗と大軍拡の政治を転換する可能性が開かれたと言えます。一方で、軍拡と日米軍事同盟強化に明確に反対する政治勢力が議席を増やせなかったことは残念な結果です。しかし、辺野古新基地中止を求めてたたかう「オール沖縄」が、1区と2区で当選し、沖縄の民意を示したことは重要な成果です。

切り開かれた新しい情勢のもとで、私たちの運動を強め、新しい政治の流れに、軍拡と「戦争国家づくり」を転換する力を添えていくことが私たちの課題です。

もう一つ、総選挙の最中に、「台湾有事」を想定したかつてない規模の日米統合演習「キーン・ソード25」が今もおこなわれています。これに参加したオスプレイが「負傷者搬送訓練中」に事故を起こすという事態にもなっています。住民をこのような「戦争国家づくり」を許さない地域からの運動をつくりながら大会を成功させていきましょう。

運動前進の力、視聴会、個人視聴を広げましょう。学習パンフを普及しよう。

団体のみなさん

役員、書記局、事務局のみなさん、事務所・会議室等で視聴会を開きましょう。個人視聴も広げましょう。

地域のみなさん

チラシ2号も活用して、視聴会へのお誘いを広げましょう。視聴会準備これからのところは、諸団体の会議室等も借りて視聴会を設けましょう。

これからの オンライン プレ企画

- 11/9(土)10:30~12:00 青年企画「日米安保は誰得?!なぜ日本はアメリカいなりなのか」(担当:全労連青年部、民青同盟、日本原水協、日本平和委員会)
- 11/9(土)14:00~16:30 「台湾の反戦平和勢力と交流する会」(担当:日中友好協会、日本AALA連帯委員会) ★参加方法は、平和大会のHPをご覧ください。